

市民カメラマン

市民カメラマンは、市民の目で捉えた行事や風景を写真におさめ、その写真を通じて市の魅力を多くの人に伝えるボランティアとして活動しています。市民カメラマンの撮影した写真は、本紙14、15ページの「あなたのまちから」に数多く掲載しています。



たくさんのすてきな出会い
市民カメラマンは、平成29年から始め、6年目になります。新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントの中止・延期が相次いだ時期もありましたが、イベントを撮影する



市民カメラマン
金指恵理子さん

市民カメラマンとして活動している人が現在6人います。その中の一人である金指恵理子さん(下鹿山在住)にインタビューしました。

際には声をかけてくれる人がいたり、カメラに向かって笑顔を見せてくれたりする人が大勢います。この活動を通して、人との出会いが多くあり、充実した日々を過ごしています。

また、市民カメラマン同士でも情報交換をして、学び合う機会もあります。

その一言が励みに

最近では、日高市の公式インスタグラムにも写真が掲載されるようになり、スマホで手軽に見れる機会も増えました。自分の名前と合わせて写真が掲載されることで、友人や知人に「広報を見たよ」の一言が励みになっています。

シャッターチャンスは一度きり

その一瞬を撮り逃すことのないように、カメラを常備しています。

市民カメラマンになると、自分の撮った写真で、市民の視点から日高市の魅力を広く伝える絶好のチャンスがあります。



▲撮影した写真

市民カメラマン募集

一眼レフやミラーレスカメラ等を使用して広報ひだかや市ホームページ、SNS等に掲載する写真をボランティアで撮影する市民カメラマンを募集します。

任期 4月1日～令和6年3月31日

対象 次の全ての条件を満たす人

- ①18歳以上の市民または連携協定を締結している大学の学生
- ②写真撮影に必要な機材を用意できる人
- ③主に土・日曜日および祝日に無償ボランティアで活動できる人

募集人数 5人程度

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、自分で撮影した写真を添えて、2月28日(火)までに、直接下記へ
※電子申請からも応募できます。

※応募用紙は、下記または各公民館に備えてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

※後日、面談等による選考を行います。

※撮影した写真の著作権は市に帰属します。

問い合わせ 市政情報課広報・統計担当



市民カメラマンの

声

- いろいろな行事にふれられる
- 写真撮影は素人でも、撮影した写真が広報ひだかの表紙に初めて採用された
- 日高市に住んでいても市の活動について、まったく知らなかったが、活動を通していろいろな施設やイベントを知ることができた
- 広報ひだかに自分の撮影した写真が使われ、名前が掲載されることで久しぶりに会う仲間や知人から「市民カメラマンをやっているんだ」「よく名前を見るよ」「頑張ってるね」と声を掛けられることがしばしばあり、うれしい



市民カメラマンについてはこちら▶